

3月19日(金)、3学期終業式、そして、中学校卒業式授与が行われました。終業式では、建学の精神(「報恩感謝・実践」と教育目標(「グローバル・イノベーション・リーダーの育成」))に寄せて私が推奨する「8つのマインドセット」について話しました。今年度どれくらい自分事として意識できたかの振り返りと、次年度も「意識して過ごしてもらいたい」と願っていることに触れ、3学期、一年を締めくくりました。

さて、3月20日(金)~23日(月)、本校高校2年生の研修旅行コースの一つであるカンボジアのバイオン高校/附属中学校を訪問し、本校との姉妹校締結の調印式を行ってきました。このことによって、カンボジアとの交流が加速する共に、両校生徒の学びの深化が図られるものと確信します。

以下は、その調印式などの様子です。

「姉妹校として歩む」

3月21日(土)、8時30分にバイオン高校/附属中学校に到着し、校長先生らと調印式の打ち合わせを済ませたのち、生徒・教員150人余りが待つ会場(屋外講堂?)に移動。ステージ上には、カンボジアと日本の国旗がスタンドに立てられ、厳粛な雰囲気が醸し出されていました。最初にカンボジア国歌の演奏・斉唱があり、続いて「君が代」の演奏・斉唱と続きました。大きな声を出して歌いました。次第に感情が高ぶってくるのをこらえきれず、自然と涙が溢れ出てきました。カンボジアの国情やバイオンの生徒たちの健気な様子、本校生徒の意気込みを想像するなど、様々なことが交錯していました。

バイオンの生徒たちがカンボジアの伝統的な民族舞踊を披露してくれた後、チョム・ルー校長先生から「両国と両校の交流を通じて相互理解を深め、友情を育んでいきましょう」と歓迎のお言葉をいただきました。また、「国や文化が異なっても学び合うことは大切です。この交流がそれぞれの未来にとって実りあるものになることを願っています」と私から述べさせていただきました。

その後、調印を終え、再び生徒による民族舞踊(ココナッツダンス)が披露されました。そして、代表生徒による「今後の交流を楽しみにしています」という挨拶のあと、本校生徒が作った「水引付お守り」(中に「あなたの健康と幸せ、そして明るい未来をお祈りします。あなたと友だちになれて嬉しいです」のメッセージ入り)を生徒たちにプレゼントし、無事に調印式を終えることができました。10月の高校2年生の研修旅行(4度目の訪問)が楽しみです。

翌22日(日)早朝、アンコールワットに行きました。運よく晴天に恵まれ、彼岸のご来光を目にすることができました。最高の出会いでした。



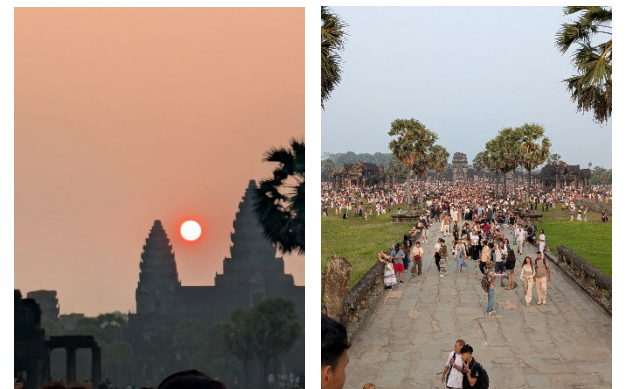
両校長が調印書にサインをしました。



調印を終え、記念写真を撮りました。



みなさんに喜んでいただいた「水引付お守り」



「一生に一度は見たい世界の絶景3つ」の1つ、アンコールワットのご来光。約3万人が訪れたとのこと。